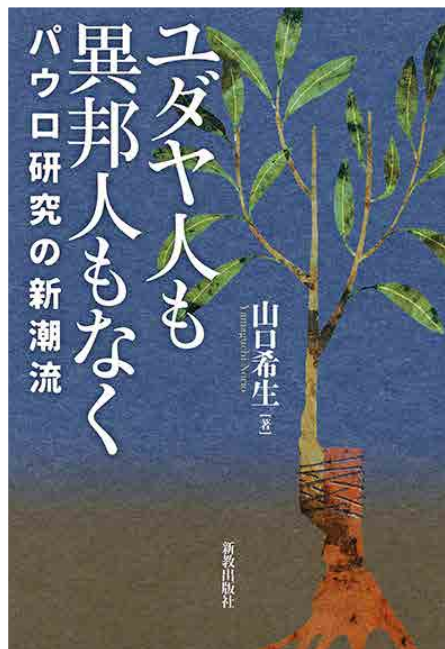


ユダヤ人も異邦人もなく

パウロ研究の新潮流

山口希生 [著]

四六判・並製・240 頁・本体 2,250 円（税込定価 2,475 円）
ISBN 978-4-400-11185-6 C1016



NPP（New Perspective on Paul ＝パウロへの新たな視点）を徹底解説

信仰義認論を最重視する従来のパウロ理解に異議を申し立て、20 世紀後半から英米圏の新約学界で激しい論議を呼んでいる「パウロへの新しい視点」（NPP）。それは、イエスやパウロが生きていた時代のユダヤ教に関する新知見に基づき、キリスト教がユダヤ教に下してきた行為義認主義という評価に根本的修正を迫るとともに、パウロの宣教の核心が何だったかをめぐる理解にも再考を促す。本書は 19 世紀のバウルから 21 世紀のパークレーまで重要な論者を綿密に追跡。本邦初の NPP 本格解説書。

著者紹介 山口希生（やまぐち・のりお）

1970 年生まれ。早稲田大学法学部卒業後、日米金融機関に通算 15 年勤務、その間に青山学院大学院より修士号（ファイナンス）取得。その後渡英し、セントアンドリュース大学より神学学士及び博士号（新約聖書学）取得。現在、日本同盟基督教団中原キリスト教会牧師、東京基督教大学、東京神学大学、青山学院大学、聖契神学校、お茶の水聖書学院講師。

著書に『「神の王国」を求めて——近代以降の研究史』（ヨベル、2020 年）など、訳書にボウカム『イエス入門』（共訳、新教出版社、2013 年）、N. T. ライト『新約聖書と神の民』上下巻（新教出版社、2015、18 年）など。

【目次より】

第 1 章 第二神殿時代のユダヤ教とパウロ

第 1 部 NPP の先駆者たち

第 2 章 パウロ神学における普遍主義 —F・C・バウル

第 3 章 パウロの神秘主義とはどんなものか
—アルベルト・シュヴァイツァー

第 4 章 ユダヤ人としての使徒パウロ—W・D・デイヴィス

第 5 章 「罪」に打ち勝つ「神の義」
—エルンスト・ケーゼマン

第 2 部 NPP を代表する研究者たち

第 6 章 第二神殿時代のユダヤ教の真のすがたを求めて
—E・P・サンダース

第 7 章 ユダヤ民族主義と使徒パウロ —J・D・G・ダン

第 8 章 キリスト自身の神への忠実さ —リチャード・ヘイズ

第 9 章 パウロとイスラエルのストーリー —N・T・ライト

第 3 部 ポスト NPP の旗手たち

第 10 章 キリストは身代わりか、解放者か
—ダグラス・キャンベル

第 11 章 「恵みのみ」を再考する —ジョン・パークレー

第 12 章 パウロ研究の新潮流がもたらすもの



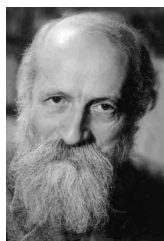
マルティン・ブーバー [著] 稲村秀一 [訳著]

義を求める祈り

—— 正と悪をめぐる『詩篇』黙想 ——

付録論考 現代の精神状況における「神の蝕」

5月中旬刊行予定



Martin Buber:
Recht und Unrecht-Deutung einige Psalmen, jhm. Werke II

マルティン・ブーバー 義を求める祈り

正と悪をめぐる『詩篇』黙想

稲村秀一 [訳]

YOBEL, Inc.

新書判上製・248頁・1,650円(税込)
1,500円+税 ISBN978-4-909871-89-3 C0216

悪と不正がなければ、詩篇の祈りも生まれてこなかった。

邪悪な者はなぜ富み栄えるのか！？ 真実な者の訴えはなぜ聴かれないのか。神は身を隠したままなのか。自己の根底に横たわる古典的な問いと神不在の現代世界の苦悩とが詩篇を通してシンクロし、新たな光明が照らし始める。『我と汝』で知られるブーバーの隠れた名著、本邦初訳！

マルティン・ブーバー (Martin Buber, 1878年2月8日 - 1965年6月13日) 1878年、ウィーンの正統派ユダヤ教徒の家庭に生まれる。イディッシュ語とドイツ語が交わされる中で生活しながら、1892年に父方の実家があるレンベルク(当時オーストリア領、現ウクライナ領リヴィウ)に転居。イマヌエル・カント、セーレン・キェルケゴール、フリードリヒ・ニーチェなどに親しむうち哲学に興味を示し、1896年に再度ウィーンへ戻って哲学、美術史、歴史などの勉強に勤しんだ。

その後、当時盛んになったシオニズム運動に加わり、機関紙の編集者にもなるものの、ハシディズムに関心を持ったことを契機に、政治的に特化されたシオニズムに疑問を持って離脱。再び学究と著述に専念し、1923年に主著となる『我と汝』を上梓した。翌1924年にはフランクフルト大学教授となり、聖書のヘブライ語からのドイツ語訳に携わった。

1930年にはフランクフルト大学名誉教授となるも、ナチスが政権を獲得すると一切の講義を禁止され1935年に追放処分を受ける。このためドイツを出国したブーバーは、1938年にエルサレムに移住しヘブライ大学で人類学と社会学を講じた。1965年にエルサレムで没した。

訳者略歴：稲村秀一(いなむら・しゅういち)

1944年鳥取市に生まれる。1973年広島大学大学院文学研究科博士課程修了。1987年フライブルク大学留学(～1988年)。岡山大学名誉教授。文学博士(広島大学)。

主な著書：『ブーバーの人間学』(1987)、『マルティン・ブーバー研究 — 教育論・共同体論・宗教論 —』(2004)、『キェルケゴールの人間学』(2005)、『実存の人間学の源流と展開』(2008)、他

凡例	序	I 偽りの世代に対抗して	詩篇12篇
	II 裂け目	詩篇14篇	
	III 審判者を審判する	詩篇82篇	
	IV 心は決断する	詩篇73篇	
	V 多くの道	詩篇1篇	
訳者解説	訳者あながき		
付録論考	現代の精神状況における「神の蝕」	稲村秀一著	



遠藤勝信 著 東京女子大学教授

愛の心を育む

— 大学チャペルでのキリスト教講話



2023 年 5 月 20 日刊行予定

SS (サービス・アンド・サクリファイス「犠牲と奉仕」) 精神で
現代に愛を育む、紡ぐ。

「この大学に来てはじめてキリスト教に触れる」という学生への水先案内人となった著者が語るアメイジング・バイブル・ワールド! これからの長い生涯を生き抜く指針となり道標となる聖書の言葉をその柔らかなたましいに語りかける 30 話を厳選。

はじめに

- 1 愛の絆 (コロサイ 3・12～14)
- 2 人とは何者? (創世記 1・27 前半)
- 3 SS精神を育てる (フィリピ 1・9～11)
- 4 SS精神を生きる (ヨハネ 15・9～12)
- 5 仕え合う喜び (1ペトロ 4・10～11)
- 6 誠実に愛し合う (1ヨハネ 3・18)
- 7 キリストの心を育む (フィリピ 2・1～4)
- 8 でこぼこ道の恵み (ヤコブ 1・2～4)
- 9 あなたが倒れないために (1コリント 10・12～13)
- 10 いまを感謝し、今日を誠実に (マタイ 25・14～27)
- 11 人生に目的を持つ (コヘレトの言葉 12・1)
- 12 人生の土台づくり (マタイ 7・24～27)
- 13 いま、大切にしたいこと (ルカ 10・38～42)
- 14 キリストの模範 (1ペトロ 2・21～23)
- 15 愛の模範 (ヨハネ 13・12～15)

- 16 弱さと向き合う (マタイ 5・3)
 - 17 あなたは高価で尊い (イザヤ書 43・4)
 - 18 心を整える (1ペトロ 2・1～2)
 - 19 あなたの隣人とは? (ルカ 10・30～37)
 - 20 神の国はあなたがたの間に (ルカ 17・20～21)
 - 21 希望を失わず (ヨハネ 5・1～9 前半)
 - 22 優先すべき課題 (1ペトロ 4・7～8)
 - 23 理想と現実の狭間で (マタイ 5・23～24)
 - 24 アメイジング・グレース (1コリント 15・9～10)
 - 25 小さな祈りから (ルカ 1・5～14)
 - 26 愛の眼差しの向かうところ (ルカ 1・46～50)
 - 27 暗さの中でこそ、輝く光 (ヨハネ 1・5)
 - 28 愛の光、微かに、静かに、でも強く (1ヨハネ 4・7)
 - 29 救いの訪れ (ルカ 19・1～10)
 - 30 歴史に聴き、明日を語る (詩編 143・5～6、ヤコブ 1・19～20)
- おわりに

遠藤勝信 (えんどう・まさのぶ)

1963 年生まれ。大学卒業後、神学校で学び、欧米に五年間留学。2000 年に英国セント・アンドリュース大学より哲学博士号 (Ph.D.) を取得。現在、東京女子大学教授 (聖書学)、日本同盟基督教団牧師、東京神学大学大学院非常勤講師、玉川聖学院理事。

著書: Creation and Christology (Tübingen: Mohr Siebeck)、『ペテロの手紙第二に聴く — 真理に堅く立って』、『試練の中にある友へ — ペテロによる愛の手紙』、『みことばを生きる — 聖書の霊性の理解』、『この人を見よ — ヨハネによる受難物語』、『愛を終わりで — 最後の晩餐で語られた主イエスのメッセージ』、『キリストの恵みに憩う — ヨハネの福音書のメッセージから』等。



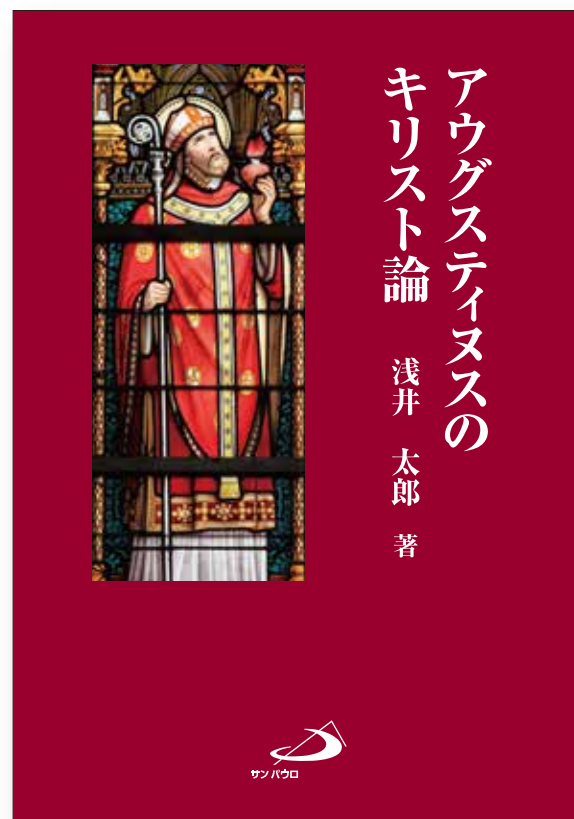
新書判・186 頁・定価 1,210 円 (税込)
本体 1,100 円 + 税 ISBN978-4-909871-70-1 C0216

ヨベル YOBEL Inc. 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-1 T 03-3818-4851 F 03-3818-4858 <http://www.yobel.co.jp>

一つ所で、共に食し、共に働き、共に学び、人々に仕えるために共に準備をし……真の対話を持ち、人格的關係に生きる

4月10日(月) 発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内



アウグスティヌスのキリスト論

浅井 太郎 著

「イエス・キリストとは何者なのか？」

西方キリスト教会の精神的支柱として、中世ヨーロッパの神学と哲学の形成に決定的な影響を及ぼし、「西方教会最大の教父」と称えられる聖アウグスティヌス。偉大な神学者、哲学者、そして説教者として比類なきこの聖人が、イエスをどう捉えていたかという根本命題の探求を通して、今日のキリスト者としての信仰、教会の持つ豊穡な神秘について学ぶ。著者は東京カトリック神学院の教員として、日々、邦人司祭の育成に当たる。

著者紹介 **浅井 太郎** (あさい たろう)

1970年 名古屋市に生まれる。

2006年 南山大学大学院にて博士号(文学)取得。

2010年 上智大学にて教皇庁認可の哲学教授資格取得。

2012年 カトリック名古屋教区司祭に叙階。数年間小教区主任司祭として司牧に従事。

2014年 教皇庁認可の神学教授資格取得(在名古屋教皇庁認可神学部にて)。

2015年 日本カトリック神学院非常勤講師となる。

2020年 東京カトリック神学院養成者(学務担当)となる。

現在、同神学院で哲学科の授業をいくつか担当している。

他にカトリック中央協議会列聖委員会委員、NPO法人岐阜ダルク理事長、南山大学非常勤講師。

著 書 『今日のカトリック神学—展望・原理・基準』(カトリック中央協議会)

訳 書 『涙の谷における薔薇の園—キリストに魂の癒しを求めて』(アドスリー)

• A5判 • 500頁 • 並製 • 本体 4,000円+税 • ISBN978-4-8056-0070-2 C3016

◆ シリーズ新約聖書に聴く ◆

ヨハネの手紙に聴く 光のうちを歩むために

遠藤勝信 著

かつて「雷の子」と言われた「愛の使徒」の三つの手紙を説き明かす講解説教。獣化した国家の迫害と異なる福音に翻弄される教会とキリスト者に、愛をもって、かつ厳しく語るヨハネのメッセージに耳を傾ける。



B6判 280頁 定価2,200円(本体2,000円+税)
ISBN978-4-264-04431-4 C0016
いのちのことば社 卸コード 26430

遠藤勝信（えんどう・まさのぶ）

1963年生まれ。大学卒業後、神学校で学び、欧米に五年間留学。2000年に英国セント・アンドリュース大学より哲学博士号（Ph.D.）を取得。現在、東京女子大学教授（聖書学）、日本同盟基督教団牧師、東京神学大学大学院非常勤講師、玉川聖学院理事。著書に、Creation and Christology (Tübingen: Mohr Siebeck)、『ペテロの手紙第二に聴く——真理に堅く立って』、『試練の中にある友へ——ペテロによる愛の手紙』、『みことばを生きる——聖書的霊性の理解』、『この人を見よ——ヨハネによる受難物語』、『愛を終わりまで——最後の晩餐で語られた主イエスのメッセージ』、『キリストの恵みに憩う——ヨハネの福音書のメッセージから』等。

全作品描き下ろし

絵とことばで紡がれた16のメッセージ



A6判 16枚 定価1,210円(本体1,100円+税)

ISBN978-4-264-04432-1 C0071

いのちのことば社 フォレストブックス

卸コード 17240

ホンダマモルのカードブック は 木の葉のてがみ

人生にはいろいろな風が吹きます。追い風、向かい風、強風もあれば静かに肌をなでるようなやさしい風も。ここに木の葉を手で包むように16の絵とことばを集めました。この一枚一枚が、心地よい香りを運ぶようなやさしい風によって、大切な誰かの元に届きますように。



ありのままの私で そのままの私で
一歩踏み出してゆく



主は私の羊飼い。
私は愛しいことはありません。
詩篇 23:1



しゅっぱつ
みちびかれるままに しんじるままに

大切な人に届けたくなる手のひらサイズのカードブック。一つ一つ切り離すと、ポストカードに。画家ホンダマモルの絵と詩がぎゅっとつまった心に響いてくる一冊。

作者プロフィール ホンダマモル

1973年生まれ。埼玉県出身。画家。作品展示会「ヒトリコテン」を開催し、絵画作品を発表。どこかなつかしく、そして観る人にあたたかいキモチを届ける作品を生み出し続けている。著作に絵本『だれのも、このて』、『日めくりヒトリコテン ふつとひといき』、『日めくりヒトリコテン ちいさな しあわせ ふわり』。装画に『インサイドアウト』『ハイデルベルク信仰問答を読む』『光を仰いで』など。